

平成 27 年度 第2回 スポーツ推進審議会 (議事録)

日時： 平成 27 年 12 月 17 日 (木) 午後 4 時 00 分 ～ 午後 5 時 30 分

場所： 中央体育館 1 階 会議室

出席委員：会長・金山委員、副会長・石井委員

田嶋委員、蟹江委員、鳥内委員、岡村委員、里見委員、山本委員、馬場委員

欠席委員：高山委員、牧委員

事務局出席者：小橋市民文化局長、多田文化スポーツまちづくり部長、西垣内文化スポーツ企画課長、河内地域スポーツ課長、出石学校教育課指導主事、地域スポーツ課 (係長：田中・木村、主事：山岡)

< 議事内容 >

○ (報告事項) (ア) 文化スポーツ企画課関係報告

【事務局】

- ・ 当日配布資料に基づき、説明。

(会長)

- ・ 何かご意見、ご質問があればお願いしたい。
- ・ 来年度 4 月から障害者差別解消法が施行される。その法律にも対応できるような施設を期待したい。

(委員：スポーツ関係者 (学校体育))

- ・ 陸上競技場の計画策定の進捗に伴い、例えば、西宮市陸上競技協会の関係者からの意見聴取されることなども考えておられるのか。

【事務局】

- ・ 施設のバリアフリー化は必要であると考えている。
- ・ 計画策定にあたっては、いずれかの段階で関係者からご意見をお聞きする場を設けたいと考えている。

(委員：学識経験者)

- ・ 陸上競技場を新設するにあたって、4 種公認施設で良いのか心配である。

【事務局】

- ・ 例えば、投擲等を行う方には様々な意見があり、天然芝でなければならないというご意見や人工芝でも可能といったご意見などもある。
- ・ 天然芝（3種以上）と人工芝（4種）の議論は、意見が分かれるところである。西宮市体育協会にもご意見をお聞きしており、今後の検討課題としたい。

（委員：市民）

- ・ 企業が福利厚生のための運動会などを実施できるような施設になるのか。

【事務局】

- ・ 営利使用を認める条例改正も検討しており、基本的にはご利用いただけると考えている。

（委員：学識経験者）

- ・ 競泳選手の育成につながるようなプールの運営には、大変なコストがかかると思うが、その点はいかがか。
- ・ また、プールはどのようなものを想定されているか。

【事務局】

- ・ 現状においても、本市の外郭団体が有しているプールも、夏場を除くと運営は厳しい。プールを設置すると、相応の料金を徴収しないと運営費用の回収は難しいと想定している。
- ・ プールについては、規模として25mまたは50mにするかの議論以外に、そもそも設置するか否かについても検討しているところである。設置することを前提に議論しているわけではない。

（委員：スポーツ関係者（競技スポーツ））

- ・ 整備手法の案が提示されているが、ベスト・ミックスを今、検証されているということか。

【事務局】

- ・ 現状では、多様な観点から整備手法の検証を進めているところであり、その手法の案をお示ししている。

（会長）

- ・ 今後も本件についてはご報告をお願いしたい。

○ （報告事項） （イ）地域スポーツ課関係報告

【事務局】

- ・ 資料に基づき説明。

(会長)

- ・ 地域スポーツ関係についてご意見、ご質問をお願いしたい。

(委員：学識経験者)

- ・ 「手軽にできる楽しい体験会」は 21 名の参加になっているが、定員は何名であったか。

【事務局】

- ・ 募集定員は 50 名であった。
- ・ ただ、参加人数が少ないほど、参加者が体験できる時間が増えるので、楽しんでいただける時間が増加して良い面もあると聞いている。

(委員：学識経験者)

- ・ プール開放をできなかった地区（工事を除く）の主な理由は何か。

【事務局】

- ・ 学校の規模が小さい場合は、監視者が確保しにくい面がある。特に小規模校にはその傾向がある。
- ・ 近年、警察庁から発せられた通知により、遊泳監視体制の強化が求められており、その対応が困難であった地区もある。
- ・ そのため、本市としては、プール開放事業が実施できない地区が代替事業を実施する場合に、補助金を交付することで代替事業の実施を支援する制度を創設して、ご利用いただいた。

(会長)

- ・ 地域によって、入水者の人数が多いようだが、何か要因があるのか。

【事務局】

- ・ 未就学児の入水を認めている地区は、未就学児とその保護者も入水するので多くなる。
- ・ 小学校によっては幼児用の浅いプールが併設されている場合もあり、また、地域によっては幼児用ビニールプールも用意しているため、未就学児も多く入水している。

(委員：学識経験者)

- ・ 全施設の稼働率が 50%～60%という状況について、どのようにお考えか。

【事務局】

- ・ 野球場などは、土・日・祝日の利用が多く、平日は利用者が少ない。それらを平均すると 50%～60%程度になってしまう。
- ・ 稼働率の低い北部地区の施設であっても、休日や平日の夕方・夜間は利用率が高い。学生や

勤労者がこの時間帯を利用されている。

○ (報告事項) (ウ) 学校教育課関係報告

【事務局】

- ・ 資料に基づき、説明。

(会長)

- ・ 学校教育課関係のご報告について、ご意見・ご質問等をお願いしたい。

(委員：スポーツ関係者（生涯スポーツ）)

- ・ フラッグフットボールとはどのようなスポーツか。

【事務局】

- ・ アメリカンフットボールが元になっているスポーツである。特徴として接触プレーをなくして、子供たちが様々な活躍をできるように工夫されたスポーツである。
- ・ 本市でも学校単位で参加し、勝ち負けを気にせず、男女混合でもできるようなスポーツとして普及できれば良いと考えている。

(会長)

- ・ 新しく学習指導要領に含まれたスポーツである。

(委員：スポーツ関係者（学校体育）)

- ・ ルールについては、攻守が交代するなどは共通だが、各学校によってローカル・ルールが多く採用されている。

(委員：学識経験者)

- ・ 水泳記録会が5年生、6年生だけになっている理由は何か。

(委員：スポーツ関係者（学校体育）)

- ・ 以前から5年生、6年生だけを対象にしており、なぜ、5年生、6年生だけを対象にしていたのかは不明だ。
- ・ ただ、小学校体育連盟では5年生、6年生を対象にスポーツ交流を図っており、当事業もその関係があると思われる。
- ・ 現状として、参加人数が減少しつつある。以前は9月まで学校で水泳の授業を行っていたが、現状では7月までしかプールを使用した授業を行っておらず、そのため減少しつつある。
- ・ ただ、水泳記録会の実施時期を9月に変更したとしても、5年生、6年生になると、塾の夏

期講習に行く子が多くなり、それほど増加しないように思われる。

(委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）)

- ・ 希望者だけが参加しているのか。

(委員：市民)

- ・ 普段からスイミング・スクールに通っている児童もいるのか。

(委員：スポーツ関係者（学校体育）)

- ・ 基本的には、希望者だけを対象としている。
- ・ 希望者であるため、スイミング・スクールに通っている児童も含まれる。

(会長)

- ・ 中学校の部活動における外部指導者の活用状況はいかがか。
- ・ 合同チームの編成状況はいかがか。

【事務局】

- ・ 合同チームについては、ソフトボールと軟式野球部くらいしか編成されていない。
- ・ 外部指導者は、市としては募集していない。各学校で地域のボランティアできる方を募集されている。

(委員：スポーツ関係者（学校体育）)

- ・ 以前は、2校合同チームであったが、それでも生徒数が足りず、チームが編成できない状況であったため、現在では複数校合同チームとして活動されている。
- ・ ただし、3校による編成になると、学校が離れるため、普段は別々に活動し、休日のみ集まって活動を行うような状況である。

(会長)

- ・ 現状、外部指導者は引率できないという状況があり、何とかできないかと考えている。
- ・ 引率については、学校の先生方に限定されている状況だ。

(委員：スポーツ関係者（学校体育）)

- ・ 種目にもよるが、阪神大会、兵庫県大会などの多くの大会については、教員の引率が求められている。

(委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）)

- ・ 部活動の掛け持ちはだめなのか。
- ・ 様々なスポーツできる機会を奪ってしまっている気がする。

- ・ 昔は、掛け持ちする生徒もいたのではないかと思います。

(委員：スポーツ関係者（学校体育）)

- ・ 種目協会の規定で二重登録の扱いに該当するため、いずれの試合にも参加できなくなってしまう。
- ・ 連盟等の規定で掛け持ち選手が出場できなくなっている。

(委員：スポーツ関係者（スポーツ医科学）)

- ・ 多様な競技種目をするほうが、一定の部位に負担がかかりにくいので、体のためには良いと思われる。

(会長)

- ・ ぜひ、今後もこのような意見交換の場は重要であると考えている。問題を共有することで、より良い方向へ進むだろう。

【事務局】

- ・ 次回は、3月頃の開催を予定している。事前に日程調整させていただくので、よろしくお願いいたします。

以上